



「超低粘性PCグラウト材」について

「混和剤タイプ」から「プレミックスタイプ」へ移行致します。

平素は、弊社製品をご愛顧頂きまして誠にありがとうございます。

弊社は、超低粘性PCグラウト用混和剤として、「太平洋ハイジェクター (AD-1)」および「太平洋ハイジェクター (AD-1) BB」を販売して参りましたが、この度プレミックスタイプである「**太平洋ハイジェクター (Premix-AD)**」の販売を開始することに致しました。プレミックスタイプの販売開始に伴い、混和剤タイプの「太平洋ハイジェクター (AD-1)」および「太平洋ハイジェクター (AD-1) BB」につきましては、**販売を中止**することに致しましたのでお知らせ申し上げます。

今後、超低粘性PCグラウト材につきましては、**プレミックスタイプ**をご使用頂けますようお願い申し上げます。

**混和剤タイプは販売中止となり、
今後はプレミックスタイプのみの販売となります。**

【販売中止】 混和剤タイプ

太平洋ハイジェクター (AD-1)



荷姿 20kg/箱 (内容: 500g小袋×40袋)

太平洋ハイジェクター (AD-1) BB



荷姿 20kg/箱 (内容: 500g小袋×40袋)

販売期限: 平成 23 年 6 月末

【新規販売】 プレミックスタイプ

太平洋ハイジェクター (Premix-AD)



荷姿 25kg/袋

販売開始: 平成 23 年 1 月より

※注意 本製品は「PCグラウト&プレグラウトPC鋼材施工マニュアル(改定版)2006(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会」に記載されているプレミックス材(ハイジェクター)とは、別製品となります。



「超低粘性PCグラウト材」について

「プレミックスタイプ」と「混和剤タイプ」との比較。

形 態	<プレミックスタイプ> ・ 太平洋ハイジェクター (Premix-AD)	<混和剤タイプ> ・ 太平洋ハイジェクター (AD-1) ・ 太平洋ハイジェクター (AD-1)BB
準 備	<廃材量の低減> ・ 現場で用意するものは本製品と水の 2 つ。	・ 現場で用意するものは本製品と袋セメントと水の 3 つ。
練混ぜ	<施工の効率化> ・ 練混ぜ時間が、90 ～ 120 秒となり、練混ぜ時間が大幅に短縮される。また、現場では、本製品と水を練混ぜるだけとなり、混和剤の投入忘れ等のミスが軽減される。	・ 練混ぜ時間は、180 ～ 240 秒。また、現場では、本製品と袋セメントと水で練混ぜる。
品 質	<品質の安定> ・ 製造工場において管理した上で出荷されるため、品質が安定。	・ PC グラウトの品質は使用する袋セメントの品質に影響を受ける。
	<トレーサビリティの確保> ・ 製品の品質は、試験成績表で確認できる。また、荷姿に印字されたロット番号から、製造年月日が判別できる。	・ 試験成績表は、袋セメントと本製品の 2 種類となる。また、袋セメントにはロット番号が印字されておらず、試験成績表との整合が十分でない場合がある。
	<水セメント比の安定> ・ 1 袋毎に質量（内容量）の管理が実施されているため、実際の水セメント比と配合上の水セメント比の乖離が少ない。	・ 袋セメントは内容量の変動が大きい場合があるため、実際の水セメント比と配合上の水セメント比が乖離する場合がある。
	<低塩素量> ・ 1m^3 あたりの塩化物イオン量 $0.3\text{kg}/\text{m}^3$ 以下に管理されている。	・ 使用する袋セメントによっては、 1m^3 あたりの塩化物イオン量が、 $0.3\text{kg}/\text{m}^3$ を超える場合もある



太平洋マテリアル株式会社